

## 低気圧に伴う降雨による防災情報(第2報)

新庄河川事務所では、10月2日3時30分、災害対策支部(注意体制:砂防)を設置し、警戒にあたっておりましたが、**寒河江川流域<sup>ひぐれさわ</sup>の日暮沢雨量観測所及び赤川流域<sup>ますがた</sup>の枅形雨量観測所**において、降り始めからの連続雨量が**80mm**を超えたため、**10月2日3時30分発令の災害対策支部(注意体制・砂防)**を継続します。

今後、天候の状況を見て同流域の砂防施設の巡視・点検を実施する予定です。

### 1. 新庄河川事務所の体制

10月2日(金)3時30分 災害対策支部(注意体制・砂防)設置

**10月2日(金)4時00分 災害対策支部(注意体制・砂防)を継続**

### 2. 雨量情報(10月2日4時00分現在)

#### [鮭川流域]

<sup>こまた</sup>小又雨量観測所 連続雨量 **84mm**(降雨継続中)

#### [寒河江川流域]

<sup>ひぐれさわ</sup>日暮沢雨量観測所 連続雨量 **85mm**(降雨継続中)

#### [赤川流域]

<sup>ますがた</sup>枅形雨量観測所 連続雨量 **84mm**(降雨継続中)

※災害対策支部(砂防)設置基準

注意体制:連続雨量80mmに達し土砂災害の恐れがある場合

警戒体制:連続雨量120mmに達し土砂災害の恐れがある場合

時間雨量40mmに達し土砂災害の恐れがある場合

#### 問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所

山形県新庄市小田島町5-55

TEL:0233-22-0262

副所長(砂防) 佐藤 勝美(内線205)

調査課長 田村 公仁(内線351)

# 雨量観測所位置図(砂防)

赤字:連続雨量が80mmを超過した雨量観測所

囲み:連続雨量が120mmを超過した雨量観測所

または時間雨量が40mmを超過した雨量観測所

